#### (別紙) 所得月額の算出と家賃の確認

ナゴヤ家ホームの家賃は、市営住宅の家賃区分表の区分に対応した市営住宅の家賃を基礎として、 入居者が使用する部屋の面積や住戸に入居する人数に応じて算出されます。ご希望するお部屋の家 賃が知りたい場合は、ご自分の所得に応じた市営住宅の家賃区分を「【2】所得月額に基づく市営住 宅の家賃区分表」で確認の上、住宅都市局住宅管理課 ナゴヤ家ホーム担当者(電話:052-9 72-2954)までお問い合わせください。

なお、家賃区分は、所得月額によって決まります。所得月額をお知りになりたい場合は、下表の「【1】収入を所得へ換算する」を利用して収入金額から所得金額を計算してください。

#### 【1】収入を所得へ換算する

**〈給与所得の場合**〉 年間総収入金額から年間総所得金額を計算します。→①

総収入金額から総所得金額を計算する方法(給与所得以外の所得にはこの計算式は使用できません。)

年間総収入金額	年間総所得金額 →①			
651,000 円未満	0円			
651,000 円以上~ 1,619,000 円未満	年間総収入金額-650,000 円			
1,619,000 円以上~ 1,620,000 円未満	969,000 円			
1,620,000 円以上~ 1,622,000 円未満	970,000 円			
1,622,000 円以上~ 1,624,000 円未満	972,000 円			
1,624,000 円以上~ 1,628,000 円未満	974,000 円			
1,628,000 円以上~ 1,804,000 円未満	端数処理 端数処理後の年間総収入金額×0.6			
1,804,000 円以上~ 3,604,000 円未満	をします 端数処理後の年間総収入金額×0.7-			
	(説明は 180,000円			
3,604,000 円以上~ 6,600,000 円未満	下にあり 端数処理後の年間総収入金額×0.8-			
	ます)。 540,000円			
6,600,000 円以上~ 10,000,000 円未満	年間総収入金額×0.9 -1,200,000 円			
10,000,000 円以上~ 15,000,000 円未満	年間総収入金額×0.95 -1,700,000 円			
15,000,000 円以上	年間総収入額-2,450,000円			

※ 所得税法における給与所得とは異なる場合があります。

### [端数処理の方法]

- (例) 2.831.597 円の場合
  - (i) 年間総収入金額を 4,000 で割って小数点以下を切り捨てる。
    - $\rightarrow$  2.831.597  $\div$  4.000 = 707.899...
  - (ii) (i) で算出した数字に 4,000 を掛ける。
    - $\rightarrow$ 707 × 4,000 = 2,828,000
    - ●2,828,000 円を端数処理後の年間総収入金額とします。

〈事業所得等の場合〉 年間総所得金額を使用します。→2



## 〈公的年金等の場合〉 年間総収入金額から総所得金額を計算します。→3

受給者の年齢	公的年金等の年間総収入金額(A)				年 間	総所得金	額		
			330万	円未満	年間総所得金額=	(A)		-	1,200,000 円
	330万	円以上	410万	円未満	年間総所得金額=	(A)	×0.75	-	375,000 円
65 歳以上の方	410万	円以上	770万	円未満	年間総所得金額=	(A)	× 0.85	-	785,000 円
	770万	円以上	1,000万	円未満	年間総所得金額=	(A)	×0.95	-	1,555,000 円
	1,000万	円以上			年間総所得金額=	(A)		-	2,055,000 円
			130万	円未満	年間総所得金額=	(A)		-	700,000 円
	130万	円以上	410万	円未満	年間総所得金額=	(A)	×0.75	-	375,000 円
65 歳未満の方	410万	円以上	770万	円未満	年間総所得金額=	(A)	× 0.85	-	785,000 円
	770万	円以上	1,000万	円未満	年間総所得金額=	(A)	×0.95	-	1,555,000 円
	1,000万	円以上			年間総所得金額=	(A)		-	2,055,000 円

(注) 65歳未満であるかどうかの判定は、申込みした年の1月1日時点での満年齢によります。



# 得られた所得を合算する 1+2+3=4

次のような場合は、所得を合算して計算することが必要です。

#### 1人で2種類以上の収入を得ている場合

例えば、給与と課税対象年金の両方を受けている場合や、自営業と会社勤め 所得金額を算出し の両方で収入を得ている場合が該当します。 た後で総所得金額

○合算の方法それぞれの年間総所得金額を算出した後で総所得金額を合計します。



# 下の式に④を入れて必要な控除をし、12で割って所得月額を算出し、収入基準を確認する

 ※合計総所得金額
 所得月額

 (4) 円-(38万円× 人+ 円)} ÷ 12 = 円

 一般控除
 特別控除

 ※一般控除と特別控除は該当する方のみ

	7.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7 2.7					
	用語	<b>範囲</b>	控除額 (1人につき年額)			
一般控除	同居していない 扶 養 親 族	市営住宅に入居しないが、所得税法上の扶養親族である方(仕送りをしているだけでは扶養親族になっていない場合が多いので注意してください)	3 8 万円			
特別	老人扶養親族	扶養親族で70歳以上の方	10万円			
控除	その他の扶養親族	扶養親族で16歳以上23歳未満の方(同一生計配偶 者は除く)	25万円			

	障害者	申込者本 人又は同 居してい ない扶養	特別障害者	身体障害者手帳 1・2 級所持健福祉手帳 1 級所持者、愛持者、戦傷病者手帳特別項等者、被爆者健康手帳所持者を 臣の認定患者 他	4 0 万円		
特別控除		親族の方 で次に該 当する方	障害者	身体障害者手帳 3~6 級所 保健福祉手帳 2·3 級所持者 所持者、戦傷病者手帳第 4 <sup>1</sup> 持者 他	2 7 万円		
	寡  婦	申込者本人あるいは同居親族で所得税法 上の寡婦に該当する方			その方の総所得 金額(④)が27 万以上の場合	2 7 万円	
					その方の総所得 金額(④)が27 万未満の場合	その所得 金額	
	してかとり親 しゅう		申込者本力	:人あるいは同居親族で所得税法		その方の総所得 金額(④)が35 万以上の場合	3 5 万円
			上のひとり親に該当する方			その方の総所得 金額(④)が35 万未満の場合	その所得 金額

<sup>(</sup>注1) 扶養親族、老人扶養親族・老人控除対象配偶者、寡婦、ひとり親はいずれも所得税法上に規 定されている方に限ります。

# 【2】所得月額に基づく市営住宅の家賃区分表

所得月額	区分
0~104,000 円	1
104,001 円~123,000 円	2
123,001 円~139,000 円	3
139,001 円~158,000 円	4
158,001 円~186,000 円	5
186,001 円~214,000 円	6

<sup>(</sup>注2) 年齢は申込日等基準日の満年齢で計算します。